



北アフリカ地域ニュース

モロッコ：フランスとの経済協力

(4月17日付 L Economiste 紙)

17日午後、フィヨン・フランス首相は、第9回モロッコ・フランス政府間セミナーに出席するために、閣僚及び経済界要人と共にラバトに到着した。フィヨン首相はモハメッド6世国王を表敬、その後、エル・ファシ首相と会談に臨む。

1. 今回の訪問の目玉は、すでに両国政府間で決まっている原子力の平和利用の協力、Atlas Blue へのエアバス機の導入(モロッコ航空のセカンドライン)とされており、サルコジ大統領訪問時に決まったモロッコでの TGV 導入についても協議される。また Alstom 社によるラバト市内への路面電車の導入プロジェクトも議論される。
2. この他、仏財務省下の国庫局 (Agence France Tresor) から対外債務管理及び国庫財政における支援が合意され、ラバト及びパリでの研修や専門家派遣が行われる予定。また経済協力において、仏開発局は、職業訓練の拡充及び地方公共団体の能力強化を掲げている。人間開発に関わるイニシアティヴ (INDH) を推進するために、2007年から2009年の支援額を3億ユーロから4億6千万ユーロ(政府間借款額3億6千万ユーロ、公的機関及び地方公共団体への借款額1億ユーロ)へと増額するとしている。
3. なお、今回のフィヨン首相のモロッコ訪問には、エアバス社長やアコールグループ社長(ホテル業界)等を筆頭に40名程度の経済界要人も動向しており、モロッコの経済界との交流が予定されている。

<参考> 最近のモロッコ-フランス関係

2007-07-06 仏国のサルコジ大統領は、モロッコ訪問(9日)を延期。モロッコ側の要請。

2007-07-11 仏国の法廷は、8名のイスラム原理主義者を、4年前に45名が死亡したカサブランカの自爆テロと関係があるとして、トルコ人、モロッコ人、仏国国籍所有者など8名に仏国を拠点にしたモロッコ・イスラム戦闘集団の細胞に所属していたとして有罪判決を出した。

2007-09-01 日産自動車は、ルノーと共同で、モロッコ北部に工場を建設すると発表。稼働は2010年で、ルノーとの戦略小型車ロガンや日産の小型車を生産する。

2007-10-22 サルコジ仏大統領は、モロッコ訪問を開始した。タンジェとカサブランカに接続するアフリカ初の高速鉄道協定について詰める予定。2013年までにタンジェからラバト北東の Kenitra まで敷設される予定。

2007-10-22 1965年10月に仏国のカフェで行方不明になったモロッコのカリスマ的社会主義野党指導者マフディー・ベン・バラカについて調査している仏国人判事 Patrick Ramael は、モロッコの前政府関係者5名の逮捕状を請求していることを明らかにした。仏国法務相は、そのような動きは把握していないとした。

2007-10-22 サルコジ大統領はモロッコのムハンマド国王と会談し、両国の緊密な経済関係を促進するための協定を締結した。

2007-10-23 1960年代にパリでモロッコ当局に拉致されたとされる元野党指導者マフディー・ベン・バラカの家族が、サルコジ大統領はモロッコ訪問の際にこの問題に関してモロッコ政府に圧力をかけるべきだと述べた。

2007-10-24 サルコジ大統領はモロッコを訪問した際、仏国政府はモロッコの産業発展に寄与するため、民間の核エネルギー産業の建設を支援するとした。

2007-10-29 朝日新聞は、仏国とモロッコが、仏国高速鉄道 TGV をモロッコに導入することで合意と報道。2013年までに約200キロの路線を設置する。

2008-02-27 モロッコのタンジェ港で2トンのハッシッシを積載したトラックが摘発された。仏国へ向けて出発するところ。

2008-03-07 モロッコ当局は、300万ユーロに相当の800キロのハッシッシをタンジェ港で押収。スペインアルヘシラス経由で仏国へと運ばれる予定。4日には2トンのマリファナが発見されている。